

『シロイチモジヨトウ』用交信かく乱剤

ヨトウコン-[®]S

(ビートアーミルア剤) 農林水産省登録：第 23390 号
 【安全性】人畜毒性：普通物^{注1}，魚毒性^{注2}

注1：毒劇物に該当しないものを指している通称 注2：この登録に係る使用方法では該当がない



有効成分

(Z,E) -9,12-テトラデカジエニル=アセタート	53.7%
(Z) -9-テトラデセン-1-オール	26.7%
安定剤等	19.6%

ヨトウコン-Sの特長

- 性フェロモンを利用した交信かく乱作用による密度抑制効果
- 薬剤抵抗性を獲得したシロイチモジヨトウにも有効
- 天敵を含む自然環境への悪影響や残留の心配が少ない

ヨトウコン-Sの適用内容

作物名	適用場所	使用目的	適用病害虫名	10aあたり使用量	使用時期	使用方法	
シロイチモジヨトウが加害する農作物	シロイチモジヨトウの加害作物栽培地帯	交尾阻害	シロイチモジヨトウ	露地	100～500本	シロイチモジヨトウの発生初期～終期	作物上に支柱等を用いて固定する
				ハウス	500～700本 (100mディスペンサーの場合 100～140m)		

包装単位 20cm×100本 100m×1巻

おもとめは…



製造・発売元

Shin-Etsu 信越化学工業株式会社
 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-1
 TEL. 03-3246-5280

ヨトウコン-S の使用方法・露地

1. 使用量

圃場面積	使用量 (/10a)
5ha以上	100 ~ 150本
1 ~ 5ha	150 ~ 200本

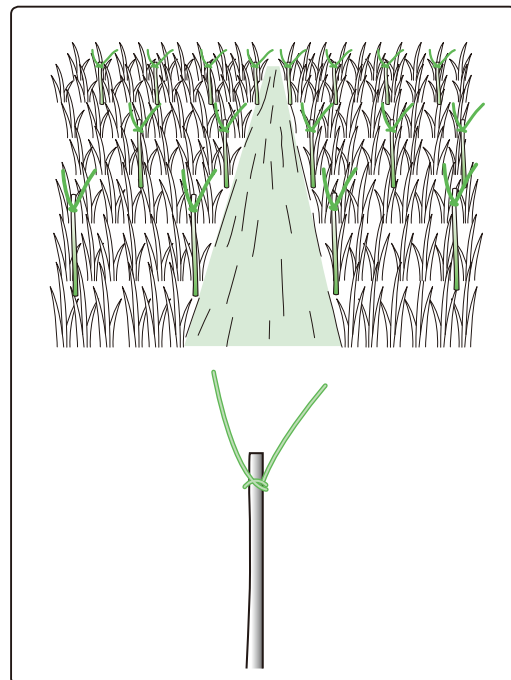
☆注意：左記の数量は、基準量です。風向き、地形等の条件を考慮し、適用範囲内で追加処理を行なってください。

◇大面積で使用する場合

対象作物の圃場面積が5haを上回る大規模処理の場合は、10aあたり100～150本とし圃場全体に処理してください。

◇小面積で使用する場合

1～5haの圃場に処理する場合は、10aあたり150～200本とし圃場全体に処理してください。また、周辺部に追加処理を行なってください。



2. 使用方法

- ◇ネギ、ホウレンソウなど、ディスペンサーを取付ける場所がない場合は、支柱を立てそこにディスペンサーを取付けてください。
- ◇キヌサヤエンドウ、ナガイモなど支柱や棚、ネット等がある畑では、そこにディスペンサーを取付けてください。
- ◇取付け位置：作物の生育の支障とならないように取付けてください。

ヨトウコン-S の使用方法・施設

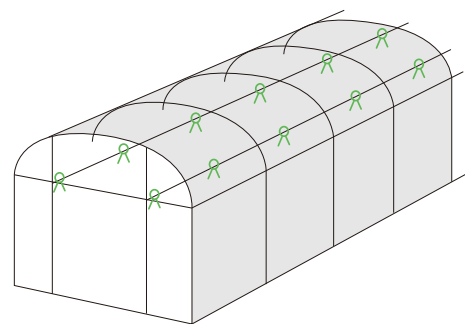
1. 使用量

◇小型ハウスの場合（標準使用量700本または140m/10a）

ハウス内の周辺部分に多めに、中央部分は少なめにし、設置間隔は均等に設置してください。

◇大型ハウスの場合（100m/10a）

ハウスの間口約10mにつき1本の割合で100mディスペンサーをハウスの端から端まで張り渡してください。また、適当な長さに100mディスペンサーを切断し、小型ハウスと同様に設置することも可能です。



2. 使用方法

- ◇ハウス内のパイプや鉄線などを利用して、ディスペンサーを取付けてください。
- ◇露地の場合と同様に支柱を立てて設置することも可能です。

ヨトウコン-S の使用上の注意事項

- ヨトウコン-Sはシロイチモジヨトウにのみ有効です。使用前に害虫の種類を確認してください。
- シロイチモジヨトウが低密度の時期から広範囲な地域で使用してください。また、対象作物の収穫期まで連続的に使用してください。
- ヨトウコン-Sには殺虫作用はありません。使用開始前や使用中にシロイチモジヨトウの密度が高くなった場合は適当な薬剤で防除してください。
- ヨトウコン-Sを開封したまま放置すると、有効成分が揮散してしまうので、使用するまで密封したまま低温な場所(5℃以下)に保管してください。
- 100mディスペンサーを切って使用する場合は、20cm間隔でシールされている部分を切ってください。20cmディスペンサーは切らずにそのまま使用してください。
- 初めて使用する場合は、使用量・使用時期・使用方法等について病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。